

BB41 051

授業科目	経済学基礎論 (Foundations of Economics)		
担当教員	篠塚友一	研究室	人社A308
単位数	2単位	オフィスアワー	
学期曜時限	1・2学期 月曜3時限	授業対象学生	1・2年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 経済学を始めて学ぶ人向けの講義を行なう。1学期はミクロ経済学に重点をおいて講義を行なう。2学期はマクロ経済学に重点をおいて講義を行なう。教科書に沿って講義を行なうので、履修者は教科書持参で出席すること。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 【授業の進行予定】 第1週 経済学の十大原理 第2週・第3週 経済学者らしく考える 第4週・第5週 相互依存と貿易からの利益 第6週・第7週 市場における需要と供給の作用 第8週・第9週 需要、供給および政府の政策 第10週 消費者、生産者、市場の効率性 第11週・第12週 国民所得の測定 第13週・第14回 生計費の測定			
単位取得要件			
備考			

BB41 061

授業科目	現代経済史 (Contemporary Economic History)		
担当教員	平沢照雄	研究室	人社A316
単位数	2単位	オフィスアワー	火曜12:45~13:30
学期曜時限	3学期 火曜2・3時限	授業対象学生	1・2年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 現代経済の歴史的形成に関する基礎的な知識の修得を目標とする。具体的には、第2次大戦後の日本経済の特質と基本構造について、戦前・戦時との歴史比較や国際比較を交えながら明らかにする。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 1)戦前・戦時と戦後の企業経営に関する歴史比較, 2)大企業グループの形成, 3)中小企業の役割の順に授業を進める予定。 復習の際には特に授業で出てきた専門用語(テクニカルターム)について再確認することを希望する。 参考文献に関してはそのつど紹介する。授業内容に関連したDVD教材も利用することにしたい。 本科目は、社会学類の専門基礎科目として開講するものであり、社会学類1~2年生の履修を最優先とし、それ以外の学生の受講を制限する場合がある。			
単位取得要件	授業に関するミニレポートと学期末の筆記試験により総合的に評価する。		
備考	平成21年度までの「現代日本経済史」に相当する。		

BB41 131

授業科目	ミクロ経済学 (Intermediate Microeconomics)		
担当教員	篠塚友一	研究室	人社A308
単位数	2単位	オフィスアワー	
学期曜時限	2学期 木曜4・5時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 一般均衡理論の視点からミクロ経済学を講義する。消費者行動の理論, 生産者の理論, 部分均衡, 交換経済の一般均衡, 生産経済の一般均衡, 厚生経済学の基本定理等の話題をカバーする。 学生への要望: 大学1年生レベルの微積分の予備知識があることが望ましい。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 【授業の進行予定】 第1週 ミクロ経済学とは何か 第2～4週 消費者行動の理論 第4・5週 生産者行動の理論 第6週 完全競争市場の部分均衡分析 第7・8週 完全競争市場の一般均衡分析 第9・10週 厚生経済学 【使用教科書】 武隈慎一『ミクロ経済学 増補版』新世社			
単位取得要件	成績評価は, 中間試験50%, 期末試験50%		
備考	国際(BC12 071)と共通		

BB41 141

授業科目	マクロ経済学 (Intermediate Macroeconomics)		
担当教員	小谷清	研究室	人社A309
単位数	2単位	オフィスアワー	随時
学期曜時限	2学期 木曜2・3時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 古典派的マクロ経済学を中心にマクロ経済理論を解説する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 高校程度の数学に習熟していることを前提とする。			
単位取得要件	期末試験		
備考	国際(BC11 871)と共通。平成21年度までの「中級マクロ経済学」に相当する。		

BB41 151

授業科目	経済変動論 (Economic Fluctuations)		
担当教員	小谷 清	研究室	人社A309
単位数	2単位	オフィスアワー	随時
学期曜時限	3学期 木曜3・4時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 経済成長と景気変動の理論			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 高校程度の数学に習熟していることを前提とする。			
単位取得要件	期末試験		
備考			

BB41 211

授業科目	経済統計論 (Economic Statistics)		
担当教員	高見澤 秀 幸	研究室	人社A315
単位数	2単位	オフィスアワー	教員HPIに掲載
学期曜時限	1学期 金曜1・2時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 概要: 記述統計と推測統計の基本的な考え方や計算方法についての講義。 目標: 様々な統計値の特徴を解釈し、それらの値から母集団の特性を理解できるようになること。 エクセル等を使って実際に計算できるようになること。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】  ・テキスト: 田中勝人『統計学』新世社  ・テキストに沿って講義を進める。 第1週: 統計学とは何か 第2週: 度数分布 第3～4週: データの特性値 第5週: 多変数データの整理 第6週: 中間試験 第7～9週: 確率変数と確率分布 第10週: 様々な母集団分布  ・エクセルを用いた実習を随時行う。			
単位取得要件	期末試験(50%)と2～4回の宿題(50%)による総合評価		
備考	講義情報は筑波大学e-learningに随時載せるので、これに登録しておくこと。		

BB41 221

授業科目	ファイナンス入門 (Introduction to Finance)		
担当教員	高見澤 秀 幸	研究室	人社A315
単位数	2単位	オフィスアワー	教員HPに掲載
学期曜時限	1学期 水曜5・6時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 概要:ポートフォリオ理論やオプション理論などファイナンスの主要なテーマに関する講義。 目標:複数の証券に対する最適資金配分の方法を理解する。 株式、債券、オプション等の価格決定の仕組みを理解する。資金配分や証券価格を実際に計算する。 要望:経済数学(あるいは類似の数学科目)を履修済みであることが望ましい。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 ・教材等は初回の授業で提示する。 第1週:ファイナンスとは何か 第2週:ファイナンスの諸問題に出てくる数学的前提 第3～5週:ポートフォリオのリスクとリターン 第6週:中間試験 第7週:マーケット・モデル 第8週:CAPM 第9週:株式の価格評価 第10週:債券の価格と利回り ・エクセルを用いた実習を随時行う。			
単位取得要件	2回の試験(66%)と2～3回の宿題(34%)による総合評価		
備考	講義情報は筑波大学e-learningに随時載せるので、これに登録しておくこと。		

BB41 271

授業科目	公共経済学 (Public Economics)		
担当教員	仲 重 人	研究室	人社A314
単位数	2単位	オフィスアワー	
学期曜時限	2学期 火曜5・6時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 公共経済学の基本を学びます。市場の失敗から政府の役割、さらに政府の失敗についても学びます。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 1. 市場と所有権 2. 公共財と市場の失敗 3. 投票制度と公共財 4. 外部経済と政府の役割 5. 社会正義 6. 政治市場と公共選択 教材は授業の進行に合わせて提示する。			
単位取得要件			
備考	国際(BC11 751)と共通		

## BB41 281

授業科目	産業組織論 (Industrial Organization)		
担当教員	篠塚友一	研究室	人社A308
単位数	2単位	オフィスアワー	
学期曜時限	3学期 木曜4・5時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 「企業と市場の経済学」について講義する。ミクロ理論とゲーム理論の分析用具を用いて、産業内の諸企業の間 の関係を考察する。大学1年生レベルの微積分と中級ミクロ経済学の知識を前提として講義する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 【授業の進行予定】 第1週 産業組織論とは何か 第2週 企業 第3・4週 独占と規制 第4・5週 不完全競争理論 第6週 共謀 第7週 市場構造と市場支配力 第8週 価格差別 第9週 垂直関係 第9週 生産物の差別化 第10週 広告 【教材】有用な参考文献は、第1回目の講義で指示する。			
単位取得要件	成績評価は2回の試験による。ただし卒業予定の4年生の成績評価は特別措置試験とレポートに		
備考			

## BB41 291

授業科目	国際経済学 (International Economics)		
担当教員	福住多一	研究室	人社A307
単位数	2単位	オフィスアワー	講義中に指示
学期曜時限	3学期 月曜3・4時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 自由貿易とその規制が各国経済や各産業に与えるインパクトを ミクロ経済学とゲーム理論の手法を使って考察する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 下の進行予定で講義をする。  1. 比較優位の原理 2. ヘクシャー=オリーソン・モデル 3. 特殊要素モデル 4. ネットワーク形成ゲーム理論と自由貿易協定  参考文献を講義中にいくつか紹介する。			
単位取得要件	期末試験+レポート(2回程度を予定)		
備考	CDP(学問と社会)		

## BB41 301

授業科目	経済数学 (Mathematics for Economics)		
担当教員	福住多一	研究室	人社A307
単位数	2単位	オフィスアワー	講義中に指示
学期曜時限	1・2学期 月曜6時限	授業対象学生	1～4年次
<p>【授業の目標と概要・学生への要望】</p> <p>線形代数学と微分積分学を学ぶ。          経済理論を理解するために必要な数学の基本的な知識を身につける。          各回の講義は易しく思えるかもしれないが、講義進行が早いので復習を怠らないように。</p>			
<p>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</p> <p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ベクトルと行列</li> <li>連立1次方程式</li> <li>行列式</li> <li>固有値と固有ベクトル</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>関数</li> <li>微分</li> <li>積分</li> </ol> <p>【教科書】 石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微分積分』 共立出版</p>			
単位取得要件	試験(4回)		
備考	国際(BC12 581)と共通、社会・国際学群の学生のみ履修可能		

## BB41 321

授業科目	経済思想史 I (History of Economic Ideas I )		
担当教員	平山朝治	研究室	人社A312
単位数	2単位	オフィスアワー	授業終了後または予約
学期曜時限	1学期 金曜4・5時限	授業対象学生	2～4年次
<p>【授業の目標と概要・学生への要望】</p> <p>古典派・新古典派の経済思想の特色を、その宗教的・哲学的背景をふまえて理解すること、それを通じて西洋中心主義を超えた人類史の見地から経済思想を考えることを目標とする。          教えられたことを鵜呑みにせず自分で考える習慣をつけてほしい。</p>			
<p>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</p> <p>以下の項目を順次取り上げる予定です。          諸学説の歴史的配置          利己心と徳と救済          自然法と歴史          功利主義と限界効用</p> <p>参考文献リストを授業中に別途配布するので、それを利用して自主的に予習・復習を行ってください。</p>			
単位取得要件	出席と期末試験を重視する。		
備考			

BB41 331

授業科目	経済思想史Ⅱ (History of Economic Ideas II)		
担当教員	平山朝治	研究室	人社A312
単位数	2単位	オフィスアワー	授業終了後または予約
学期曜時限	2学期 金曜4・5時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 経済思想史Ⅰの内容をふまえて、社会経済の動態を長期的視野からとらえる経済思想・理論に関する理解を深めることを目標とする。 教えられたことを鵜呑みにせず自分で考える習慣をつけてほしい。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 以下の項目を順次取り上げる予定です。 選択理論と新厚生経済学 理性の変遷 無意識・限定合理性と言語ゲーム 自生的秩序／カリスマ、中心／周縁 文明化 近代諸文明 脱近代  参考文献リストを授業中に別途配布するので、それを利用して自主的に予習・復習を行ってください。			
単位取得要件	出席と期末試験を重視する。		
備考			

BB41 341

授業科目	計量経済学 (Econometrics)		
担当教員	浅野 哲	研究室	3F1232
単位数	2単位	オフィスアワー	木曜13:30-14:30またはメール予約
学期曜時限	1学期 木曜1・2時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 計量経済学はデータから経済理論を検証する手法である。この授業ではミクロ経済学、マクロ経済学、初等統計学と線形代数の初歩的な知識を前提として、古典的回帰モデルの理論と応用例の解説を中心に講義する。社会工学類の基礎科目の単位を取得した学生は十分な準備ができているはずである。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 教科書：浅野哲・中村二郎「計量経済学第2版」有斐閣 2009 参考書：山本拓「計量経済学」新世社 1995 1週：計量経済学とは何か、応用例、2週：統計学、線形代数の基礎(期待値、分散、共分散、ベクトル、行列、行列式等)3週：2変数回帰モデル、2変数回帰モデルにおける最小二乗法、決定係数 4週：関数形の選択、推定量の統計的性質、仮説検定 5週：Z検定、t検定、ガウス・マルコフ定理 6週：中間テスト、回帰の錯誤 7週：K変数回帰モデル、推定値の統計的性質 8週 K変数回帰モデルの応用例1 9週：K変数回帰モデルの応用例2、多重共線性 10週：想定外の誤り、一般化古典的回帰モデル 前提科目：統計学、ミクロ経済学、マクロ経済学			
単位取得要件	中間と期末試験の結果による。		
備考	社工(FH22 021)と共通		

BB41 371

授業科目	ヨーロッパ社会経済史 (European Social and Economic History)		
担当教員	田中 洋子	研究室	
単位数	2単位	オフィスアワー	メールでアポイントメントをとってください。
学期曜時限	2学期 木曜2・3時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 ヨーロッパ、特にドイツにおける女性の働き方の歴史と現在をテーマとします。近代化以前から資本主義化後にかけて女性の働き方はどのように変わってきたのか、また現在の働き方はさらに如何に変わってきているかについて考えていきます。特に、食べるもの、着るものの支度・準備、工場やオフィス、在宅での仕事のあり方などをとりあげます。関心のある人の参加を期待します。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 次のようなテーマをとりあげていきます。 ・工業化以前の家事・農業・織物労働 ・工業化後の工場労働・内職 ・オフィス・ワークや店舗での販売 ・アフター・ファイブの消費生活 ・パート労働・在宅勤務・キャリアアップ 授業は、課題文献をグループで分担し、発表していく形をとります。その後解説を加え、参加者と議論していきます。			
単位取得要件	試験はなし。出席・報告・期末レポートの提出を総合して評価する。		
備考	国際総合学類・比較文化学類と共通		

BB41 391

授業科目	日本経済史 (Japanese Economic History)		
担当教員	平沢 照雄	研究室	人社A316
単位数	2単位	オフィスアワー	火曜12:45～13:30
学期曜時限	1学期 火曜2・3時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 1930年代の日本経済に焦点をあて、大恐慌のなかで経済社会安定のためにどのような仕組みが形成されたのか、その限界はどこにあったのかについて検討することで、今日の経済社会問題を歴史的に考えるうえで必要な知識の修得を目標とする。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 1)現代の市場経済とセイフティーネット、2)経済規制の日米比較、3)労働条件規制と産業協力の順に授業を進める予定。 復習の際には特に授業で出てきた専門用語(テクニカルターム)について再確認することを希望する。			
参考文献: 平沢照雄『大恐慌期日本の経済統制』日本経済評論社。その他の参考文献に関してはそのつど紹介する。授業に関連したDVD教材も利用する予定である。			
単位取得要件	授業に関するミニレポートと学期末の筆記試験により総合的に評価する。		
備考			



## BB41 421

授業科目	開発経済学 (Development Economics)		
担当教員	箕輪 真理	研究室	人社A310
単位数	2単位	オフィスアワー	By appointment
学期曜時限	3学期 火曜2・3時限	授業対象学生	2～4年次
<b>【授業の目標と概要・学生への要望】</b>			
The course will discuss key concepts and issues of economic development. By the end of the course, the students are expected to have better understanding of the challenges and opportunities faced by developing countries, and be able to critically assess sometimes-conflicting views and evidence on the process of development.			
<b>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</b>			
<input type="checkbox"/> Main Textbook: Perkins, et. al., Economics of Development, 6th Edition, WW.Norton & Co., 2006 <input type="checkbox"/> Topics to be covered: (1) Economic growth and development; (2) Inequality and poverty; (3) Education and development; (4) Foreign aid, foreign debt and financial crises; (5) Trade and development; (6) Sustainable development <input type="checkbox"/> Students are expected to read the respective chapters of the textbook in advance of the class. <input type="checkbox"/> The lecture will be in English, but students may participate in the questions and discussion either in English or in Japanese.			
単位取得要件	Mid-Term Exam and the Final Exam		
備考	G30プログラム 国際(BC12 731)と共通 英語で授業		

## BB41 501

授業科目	世界経済史入門 (Introduction to World Economic History)		
担当教員	田中 洋子	研究室	
単位数	2単位	オフィスアワー	メールでアポイントメントをとってください。 Tanaka.yoko.ft@u.tsukuba.ac.jp
学期曜時限	3学期 木曜5・6時限	授業対象学生	1～4年次
<b>【授業の目標と概要・学生への要望】</b>			
歴史から現在に至る経済グローバル化の過程を、資本主義の展開がもたらす社会の変容を中心に考察します。授業に続いて関連映画の上映を行うので、7～8時まであけておくといいでしょ。			
<b>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</b>			
世界経済のグローバル化の歴史を理解し、現在の自分たちの置かれている社会経済システムを、歴史的、国際的に相対化して理解できるようにすること、それがこの授業の目標です。 私たちは毎日何気なく、当たり前のようにしてこの日本社会で暮らしていますが、それは決して世界の他の場所から見ても、また歴史的に見ても、決して当たり前のもではありません。世界経済の歴史を振り返る中で、今の社会経済システムがどのように形成されてきたのか、それが現在の私たちの社会や生活、生き方に対してどれだけ決定的な影響力を与えているか、それが未来に対して何をもたらそうとしているのかを考えていきます。 毎回、講義につづいて6限の途中から、授業での問題意識や歴史認識をより深めるために、その日のテーマに関連した映画を上映します。映画を最後まで見たい人は6限以降を7時半～8時くらいまで空けておくといいでしょ。			
単位取得要件	学期末試験＋出席点。映画の感想文提出を加点。		
備考	国際(BC51 121)と共通、平成21年度までのBB41 041に相当する。		

BB41 712

授業科目	経済学入門演習Ⅰ (Seminar on Economics for Sophomores Ⅰ)		
担当教員	福住多一	研究室	人社A307
単位数	2単位	オフィスアワー	講義中に指示
学期曜時限	3学期 火曜5・6時限	授業対象学生	1～3年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 ゲーム理論の入門。 各自予習を欠かさぬように。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 以下のテキストから抜粋した章を輪読する。  岡田 章 『ゲーム理論入門』有斐閣アルマ G. ロンプ 『ゲーム理論の基礎と応用』CAP出版			
単位取得要件	出席＋報告		
備考			

BB41 722

授業科目	経済学入門演習Ⅱ (Seminar on Economics for Sophomores Ⅱ)		
担当教員	高見澤 秀 幸	研究室	人社A315
単位数	2単位	オフィスアワー	教員HPに掲載
学期曜時限	2学期 金曜3・4時限	授業対象学生	1～3年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 経済に関連する現実問題(金融危機、雇用、格差、環境など)を扱った文献を読み、問題意識を高めること。プレゼンテーション力やディスカッション力をつけること。 要望:毎回必ず出席すること			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】  ・初回の授業で文献を提示するので、履修予定者は必ず出席すること。 ・毎回2～3人が文献の内容をレジュメにまとめて発表し、その後皆で議論する。 ・読解に必要な基礎知識や技術的前提は教員が補う。			
単位取得要件	出席(原則2回以上欠席するとD)		
備考	詳細な講義情報は教員HPに掲載する。 <a href="http://www.social.tsukuba.ac.jp/~takamiza/">http://www.social.tsukuba.ac.jp/~takamiza/</a>		

BB41 822

授業科目	経済学演習Ⅱ (Seminar on Economics II)		
担当教員	篠塚友一	研究室	人社A308
単位数	4単位	オフィスアワー	
学期曜時限	2・3学期 金曜4・5時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 ミクロ経済理論に関するテキストを読む。『中級ミクロ経済学』で扱わなかった上級の話題を理解することを目標とする。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 【教材】参加者にはテキストの予習・復習が求められる。			
単位取得要件	履修者の発表、発言の内容等から総合的に判断する。		
備考	中級ミクロ、線形代数学、解析学を履修済みであることが望ましい。		

BB41 842

授業科目	経済学演習Ⅳ (Seminar on Economics IV)		
担当教員	小谷清	研究室	人社A309
単位数	4単位	オフィスアワー	随時
学期曜時限	1学期木曜4・5時限、2・3学期木曜4時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 日本経済の諸問題の研究、もしくは学生諸君の要望するテーマ。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 学生諸君にレポートしてもらう。			
単位取得要件	出席し、レポートすること。		
備考			

BB41 852

授業科目	経済学演習Ⅴ (Seminar on Economics V)		
担当教員	平 沢 照 雄	研究室	人社A316
単位数	4単位	オフィスアワー	火曜12:45~13:30
学期曜時限	1・3学期 火曜4・5時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 大競争時代の日本経済、経営改革や地域経済の活性化といったテーマをとりあげ、日本経済・地域経済に関して共に学ぶ。日本経済や日本企業、地域経済に関心や興味がある学生の積極的な参加を歓迎する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 (1)日本企業や日本経済あるいは地域経済を扱った基礎的な文献あるいは最近話題になった文献を取り上げ輪読する、(2)実際に工場に出かけて「もの作り」の現場を見学し、企業経営者の話を聞く、(3)筑波の地域経済・地域認識に関するアンケートを実施する、という3つを主な内容とする。 ひろく現代企業や現代経済をアツクった文献でも日本企業や日本経済を考えるうえで役立つものであればテキストとして取り上げる。			
単位取得要件	演習への参加態度、発表、提出レポートの内容によって総合的に評価する。		
備考	経済学専攻以外の希望者は相談に来てください。		

BB41 862

授業科目	経済学演習Ⅵ (Seminar on Economics VI)		
担当教員	平 山 朝 治	研究室	人社A312
単位数	4単位	オフィスアワー	授業終了後または予約
学期曜時限	1・2学期月曜4時限、3学期月曜4・5時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 自分の問題意識に即して研究テーマを見出し、調べ、考えたことを口頭や文章で表現し、議論する技術を磨くことを目標とする。 卒論提出に向けて努力してほしい			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 テキスト輪読と自由研究を適当に混ぜながら、進める。  テキストは、 酒井泰弘『リスクの経済思想』ミネルヴァ書房、2010年  自由研究については、3年次生は年度末レポート(400字×20枚程度)、卒業予定者は卒論(×切に間に合わなかった場合、ゼミ論)にまとめる。			
単位取得要件	出席、発表、レポート等		
備考			

BB41 882

授業科目	経済学演習Ⅷ (Seminar on Economics Ⅷ)		
担当教員	仲 重 人	研究室	人社A314
単位数	4単位	オフィスアワー	
学期曜時限	2・3学期 木曜4・5時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 公共経済学あるいは公共選択論からのトピックスについて主に英語の文献を用いて学びます。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 授業の進行は、クラスの構成等を考慮し決めるつもりです。基本的には、何らかの英語文献について読解を学生に分担し、その分担について発表をし、他の学生からの質疑応答に答える、という形式を取るつもりです。			
単位取得要件			
備考			

BB41 902

授業科目	経済学演習Ⅹ (Seminar on Economics Ⅹ)		
担当教員	箕 輪 真 理	研究室	人社A310
単位数	4単位	オフィスアワー	随時、アポイントによる
学期曜時限	1学期月曜5・6時限、2・3学期月曜2時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 開発経済学に関する文献(英語)を読み、開発途上国において課題となっている諸問題について理解を深める。途上国の事情を紹介したビデオなども使って、「開発」についての、より幅広い知識と理解を得ることを目指す。学生の皆さんには、受身でない勉学姿勢を期待します。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 <input type="checkbox"/> 文献は、経済開発について書かれた書籍、あるいは研究論文を、初回の授業でいくつか提示し、履修学生の興味を考慮して決定する予定。文献はすべて英語になる予定です。 <input type="checkbox"/> 以降の演習では、学生がそれぞれ担当した文献の内容をレジュメにまとめ、発表し、ディスカッションのテーマとなる課題を提示する。			
単位取得要件	発表とレポート。ディスカッションへの積極的な参加を評価する。		
備考			

BB41 922

授業科目	外国語経済書講読Ⅱ(英語) (Readings in Foreign Language Texts (Economics) II)		
担当教員	高見澤 秀 幸	研究室	人社A315
単位数	2単位	オフィスアワー	教員HPIに掲載
学期曜時限	1学期 金曜5・6時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 概要:英語の文献を通じて経済に関する時事問題を読み解く。 目標:英文読解力を高めながら最新の経済情勢を理解する。情報収集力やプレゼンテーション力を磨く。 要望:毎回必ず出席すること。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】  ・初回の授業で文献を提示するので、履修予定者は必ず出席すること。 ・毎回2～3人が文献の内容をパワーポイント等でプレゼン形式にまとめて発表し、その後皆で議論する。 ・読解に必要な基礎知識や技術的前提は教員が補う。			
単位取得要件	出席(原則2回以上欠席するとD)		
備考	詳細な講義情報は教員HPIに掲載する。 <a href="http://www.social.tsukuba.ac.jp/~takamiza/">http://www.social.tsukuba.ac.jp/~takamiza/</a>		

BB41 932

授業科目	外国語経済書購読Ⅲ(英語) (Reading in Foreign Language )		
担当教員	仲 重 人	研究室	人社A314
単位数	2単位	オフィスアワー	
学期曜時限	1学期 木曜4・5時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 欧米の経済誌に掲載されインパクトをもたらした論文や著書の抜粋部分を原典のまま読み、その内容やイシューを学び取ることが目標です。題材は、基本的に公共経済学ないしは公共選択論の分野から選びます。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 授業の進行は、クラス構成等を考慮し決めます。			
単位取得要件	出席+報告		
備考			

BB41 942

授業科目	外国語経済書購読Ⅳ(英語) (Reading Economic Literature Ⅳ)		
担当教員	福住 多一	研究室	人社A307
単位数	2単位	オフィスアワー	講義中に指示
学期曜時限	3学期 月曜5・6時限	授業対象学生	2～4年次
<p>【授業の目標と概要・学生への要望】</p> <p>経済理論の英語文献を読む力をつける。 各自予習を欠かさぬように。</p>			
<p>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</p> <p>次のテキストを輪読する。</p> <p>Itzhak Gilboa (2010) "Rational Choice" MIT</p> <p>目次タイトル</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Optimization</li> <li>2. Risk and Uncertainty</li> <li>3. Group Choices</li> <li>4. Games and Equilibria</li> <li>5. Free Markets</li> <li>6. Rationality and Emotions</li> </ol> <p>内容は学部レベルのミクロ経済学理論とゲーム理論の解説。</p>			
単位取得要件	出席＋報告		
備考			